

まちの話題

話題のニュースやイベントなどを紹介！

一緒に趣味に「Me too！」

禁野小学校でベトナムとの交流授業



12月2日、禁野小学校でベトナムの学校との交流授業が行われました。市が力を入れる英語教育の一環で、関西外国語大学のサポートのもと同校6年生とベトナムの同年齢の子どもがタブレットを通して交流。班ごとに分かれて、「Do you like soccer? (サッカーは好きですか?)」など趣味に関する会話を楽しみました。八橋蓮さん(12歳)は「好きなアニメと一緒にMe too! (僕も!)と興奮した。日本もベトナムも変わらない」と笑顔でした。

12月2日、禁野小学校でベトナムの学校との交流授業が行われました。市が力を入れる英語教育の一環で、関西外国語大学のサポートのもと同校6年生とベトナムの同年齢の子どもがタブレットを通して交流。班ごとに分かれて、「Do you like soccer? (サッカーは好きですか?)」など趣味に関する会話を楽しみました。八橋蓮さん(12歳)は「好きなアニメと一緒にMe too! (僕も!)と興奮した。日本もベトナムも変わらない」と笑顔でした。

伝統の菊人形で新たな表現

菊の匂いとともに次のステージへ



11月18日～12月3日に「新・菊人形展」が総合文化芸術センターで開催されました。これまでひらかたパークで開催されていた菊人形展をはじめパーク外で開催。菊人形に自身の顔を合わせて撮影できる「なりきり菊人形」や過去最大スケールでつくられた菊人形とデジタル技術による演出が融合した「大・菊人形」など新たな試みも。訪れた船橋在住の久保さん(35歳)は「今までにない仕掛けで楽しい。菊人形の文化が次の世代に続けば」と笑顔でした。

経験生かし「起業に挑戦！」

高校生がボーイスカウト最高位受章



ボーイスカウト最高位の富士スカウト章を招提中町在住の小西空さん(17歳・写真)が授章され、11月15日、受章報告に市役所を訪れました。同章は奉仕活動や高度なアウトドア活動、

その他多くの課題を乗り越えたスカウトに授与されるもの。小西さんは7歳から活動を始め、現在は枚方第18団ベンチャー隊員に所属。「将来は野外活動の経験を生かしてSDGsに関連する起業に挑戦したい」と抱負を語りました。


今後もインスタ使えそう！


街歩き通じ学生がスマホの楽しさ伝授





11月20日、スマホを使った街歩きイベントが枚方市駅周辺で開かれ、38人が参加しました。高齢者にスマホを活用してもらうための試みで、市内大学の学生を交えた8グループが「天津橋で写真撮影してInstagramに掲載」などの課題をこなしてコースを回りました。夫婦で参加した新谷隆司さん(65歳)と博子さん(61歳)は「教え方が親切で楽しかった。今後もInstagramを使えそう」と話しました。

↓ほかの話題はこちらでチェック！

 市公式フェイスブック
「マイカタちゃいます、ひらかたです。」

 市公式ツイッター
「こちら、枚方市です！」

 市公式Instagram
「i_am_in_hirakata」

 市公式LINE
「枚方市」

佐藤康光九段と夢の対局

トーナメント戦連覇の中学生が2度目の挑戦



12月10日、ひらかた将棋イベントが総合文化芸術センターで開催され、小・中学生108人がトーナメント戦や講座に参加しました。日本将棋連盟会長で市PR大使の佐藤康光九段に挑戦できる夢の対局も3年ぶりに復活。トーナメント戦で連覇を果たした松葉昌孝さん（15歳・写真右）が飛車・香車落ちで挑みましたが、約30分の対局の末、惜しくも敗れました。松葉さんは「機会があれば次は勝ちたい」と意気込みを語りました。

ぶつかる迫力、熱気に圧倒

5年ぶりの大相撲枚方場所に3000人



12月12日、KTM河本工業総合体育館で大相撲枚方場所が5年ぶりに開かれ、約3000人が来場しました。公開稽古や禁じ手を面白く紹介する「初切」などで会場は大盛り上がり。取組が始まると力士同士のぶつかり合いに、のけ反る人や歓声を上げる人など自然と体が反応する様子も。兵庫県から来たオルソン・マシューさん（34歳）は「日本文化への興味から相撲にはまった。取組を実際に見られるなんて」と満足そうに話しました。



▲昆虫採集に夢中だった幼少時代。ひらかたパークのテントウムシのアトラクションがお気に入りでした。



▲スマトラ島（インドネシア）で植物を探す長谷さん。

“程よい自然”が残っているのが枚方の良いところ

小学生の頃、夏休みは毎日の近くの小さな森でクワガタを捕まえたり、天野川まで自転車を漕いで魚や水生昆虫を取りに行ったりして過ごしていました。あちこちに「程よい自然」が残っているのが枚方の良いところですね。このころの経験が今の僕の活動に大きく影響していて、四半世紀近く経った今でも変わらず同じようなことを続けていきます。見たことのない植物を見つけた時の驚きと喜びはひとしおです。

枚方 思い出の1コマ 家族

ひらかたかぞく

枚方ゆかりの著名人の皆さんが秘蔵の写真とともに思い出を語ります。

第51回 はせけいすけ 長谷圭祐さん



枚方市出身。世界各地の熱帯雨林に赴き、まだ誰も見たことのない植物を探す植物探検家として活躍。新種や未記載種なども数多く発見している。著書「MIST LOVERS」「パルダリウムハンドブック」、植物マニアが集う販売イベント「BORDER BREAK」「天下一植物界」の主宰、TBS「クレイジージャーニー」に出演するなどその活動は多岐にわたる。

編集後記

新春座談会の取材。自然な会話の中で「祇園」の2人がポケとツッコミを入れ、現場では終始笑いが。いやあ、関西人と

して話術で笑いをとるの憧れますよね。その技術使う機会ないけど。いや、ないんかい（笑）やめさせてもらうわ。



編集者 K